

チーム えがお



学校便り NO. 37
平成 29 年 12 月 13 日発行
北川小学校 校長室

《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

12/4~12/10は、「北川小なかよし週間」でした

日本では、世界人権宣言が採択された日である12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）を、毎年「人権週間」と定めています。

北川小学校でも、この期間を「北川小なかよし週間」としました。友だちの気持ちを大切に、だれとでも仲よくしようという気持ちを育てていくことをねらいとしました。重点ポイントは、～優しい言葉と「ありがとう」のあふれる学校に～でした。

それぞれの学級が「なかよし宣言」を考え、「なかよし集会」で紹介しました。「なかよし集会」では、「ひとつのいのち」の群読と斉唱、そして、児童会で考えた「みんなで手をつないでフラフープくぐり」のゲームもしました。相手を大切にしようという思いが、それぞれの活動の様子から伝わってきました。北川小学校のみんなの心がつながったひとときでした。また、友達のよいところや、してもらってうれしかったことをカードに書いた人権ツリーもできました。全校児童のよいところがツリーに飾られています。この「なかよし週間」を一つのきっかけとして、子どもたちが心に抱いた心地よい温かい思いをもっともっとないでいきたいと思えます。



やさしい言葉と「ありがとう」のあふれる学校にするために、クラスで話し合っていました。実行します！



フラフープをくぐりやすいように、となりの友だちに合わせて手を上げたり下げたりして、みんなが心を合わせました。

「上手い」「上手い」という「温かい言葉」も飛び交っていました。



なかよし人権ツリー

群読・斉唱



「ひとつのいのち」
(略)
わたし あなた みんな
ひとつのいのち
ぜんぶだいじ
いらぬものは
ひとつもない
なかよく へいわな
地球の上に